

さつきやま魂

5月24日
 中総体特別号
 文責 校長 山下

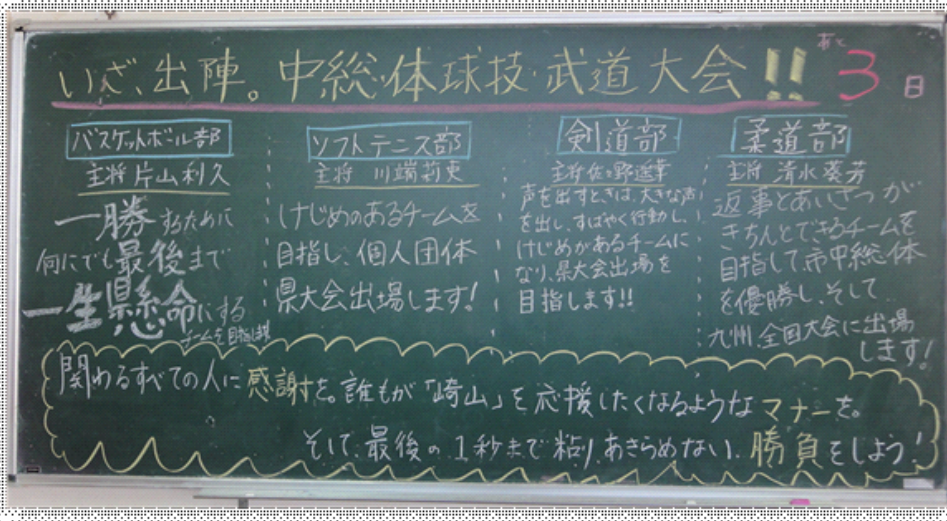


応援よろしくお願いします

いよいよ明後日、令和元年度五島市中総体が開催されます。三年生を中心に、どの部活動も調子を上げており、当日はベストコンディションで大会に臨めると思います。

下は、現在本校玄関の黒板に掲載されている各部活動キャプテンからのメッセージです。どの部も勝つことを目標にして、強い気持ちで戦いたいという思いが伝わってきます。

また、昨日は、選手推戴式が行われ、各部活動のキャプテンが一年間の思いを胸に、決意表明を行いました。小学生も激励応援にかけつけてくれました。私からは、「お世話になった方々に、感謝の気持ち伝えてほしい」とこと、一「心不乱に全力で頑張っ」てほしいことを話しました。保護者の皆様、応援よろしく、お願いします。



選手推戴式から

〈柔道部〉
 優勝すること、今まで支え応援してくださった方々に少しでも感謝の気持ちを伝えたいと思います。(清水)

〈バスケットボール部〉
 これまでバスケットに関わってきた人達に返しができるように最後まで諦めず一生懸命プレーします。(片山)

〈ソフトテニス部〉
 今まで支えてくださった方々に感謝の気持ちを伝えるためにも、最後まで全力でプレーします。(川端)

〈剣道部〉
 支えてくださる先生方や保護者、地域の方々への感謝の気持ちを胸に全力で一本を取りに行きます。(佐々野)



小学生の激励応援



中総体の思い出

平成二十四年度まで勤務していた頃、五年間女子バレー部の顧問をさせていただいた。勤務してから最初の四年間は、全て福江中学校に敗退し、生徒達も私も、毎年悔しい思いをしていた。

平成二十四年度の崎中女子バレー部にとっても最後の中総体。決勝の相手は福江中学校。セットカウント1対1で迎えた第3セット。得点は、21対20の1点差で崎中リード。この場面はAさんにサーブが回ってきた。Aさんはサーブが苦手で、以前はボールがネットを越すこともできなかった。そこで、Aさんは毎朝早く登校し、自主的にサーブ練習を行った。練習を始めて半年後くらいから練習ではいいサーブを打てるようになってきた。だが、試合になるとミスが続く。再びこつこつ練習するという、努力を惜しまないAさんであった。

そして、平成二十四年度の中総体の大事な場面でのAさんのサーブ。何と連続サーブミスで得点。結局そのまま崎中優勝。優勝したこと以上に、Aさんの今までの努力が報われたことが本当に嬉しかった。

「練習はうそをつかない」
 私は、Aさんに教わった。

練習の成果は必ず試合で出る。
 自信を持って中総体へ臨もう。
 頑張れ崎中!